

防災塾

No.9

携帯（簡易）トイレを使ってみました。

地域で電気・水道・排水（各戸からの生活排水）が止った場合、水洗トイレが使えません。この様な事態になると、携帯（簡易）トイレは各戸で用足しが出来る唯一の手段です。そこで、このトイレを使ってみましたので以下に報告致します。



写真①



写真②



写真③



写真④



写真⑤



写真⑥

●携帯（簡易）トイレの購入について

- ・D2 / カインズホーム / ビバホームを調べました。水洗トイレ用は種類も在庫も少ない状況で、震災時の急な要望には対処出来ないとのこと。クリエイトは水洗用は無し。従って、備蓄して置くことが重要です。量は7回（大2、小5）/日=約50回/週/1人
- ・インターネット通販では、種類/量を選んで買うことが出来ます。

●取付け順序と使用上の注意点

- 1) 便座を持ち上げ、中の形状に沿うようにビニール袋を取付ける。→写真①
※取り外さない袋なので、周囲をガムテープ等で張付ける。→写真②

※袋は45ℓ以上の物を用意すること。
停電している場合は、ライトが必要です。

- 2) 排泄物を溜める袋を、最初に取り付けた袋の上に被せる。
この袋も便器の中の形状に沿うように取付ける。→写真③

※袋に膨らんだ箇所があると、お尻を拭く時に付着した排泄物で手を汚す恐れがある。
水が無いと手洗いが出来ない。
被災生活を送る上で、衛生上の問題になる。

- 3) 便座を降ろし、錠剤を投入する。→写真④
- 4) 便座に座り、用足しをする。
写真⑤は、尿の代わりに300ccの水を投入した状態のもの。（実祭の物は廃棄）

※便と尿と一緒に排泄されると便と尿の水分によって錠剤の発砲が進み、消臭・殺菌効果を発揮しますが、水分が少なく便と尿に反応しない箇所がある場合、水を追加するか/袋を揉んで反応を促進してください。
便の場合は1回で交換・廃棄。尿だけの場合は複数回使用出来ます。
（製品の発売元：エクセルシアへの問合せ結果）
※臭気が出た場合、停電していると換気が出来ない。

- 5) 便・尿が溜まった袋のみを取り出し、一般ごみとし各戸で保管する。
写真⑥は、1枚を残して蓋を閉じた写真。

※災害時はごみとして保管でき、ごみ収集時に一般ごみに廃棄できる物を購入すること。

地震に無関心では、自分や家族を守れません。
ぜひ、今後開催する「防災塾」へ足を運んでください。

「防災塾」の開催日は階段下掲示板へ貼り出します。
「防災塾」塾長・防災士 竹内 一三 ☎046-254-7137
後援：相武台グリーンパーク災害対策合同会議